

授業科目	卒業研究（八木）				単位	4		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT32402J		
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	八木 康夫							
授業概要	<p>1. 専門基礎科目及び専門科目を学んだ中で、関心を持った領域から担当教員との話し合いの下に、研究テーマを各自設定する。</p> <p>2. 研究テーマに沿った研究のプロセス（問題の設定、研究の方法、情報の収集など）を学び、最終的に卒業論文としてまとめる。また、卒業研究発表会におけるプレゼンテーションの方法についても学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマについて、情報の収集、問題の設定、研究方法を検討し、研究計画を立てることができる。 ・研究計画に従って研究を遂行し、研究結果を他人に分かりやすい形に整理することができる。 ・研究に関連する参考論文から情報を収集し、自己の結果と客観的に比較・考察することができる。 ・研究の成果を、科学的な研究論文としてまとめることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	30	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			8	5		10	23	
知識・理解 (DP1-2)			7	5			12	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			7	5			12	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			7	5			12	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			7	5		5	17	
態度 (DP4-2)			7	5		5	17	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			7				7	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えた研究テーマについて、教員の協力の下、情報の収集、問題の設定、研究方法を検討し、研究計画を立てる。 ・研究計画に従って研究を遂行し、研究結果を他人に分かりやすい形に整理する。 ・研究に関連する参考論文を収集し、自己の結果と客観的に比較し考察する。 ・教員と共同して、研究の成果を科学的な研究論文としてまとめる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマについて、情報の収集、問題の設定、研究方法を教員の指示に従って検討し、研究計画を立案する。 ・研究計画に従って研究を遂行し、教員の指導の下に研究結果を他人に分かりやすい形に整理する。 ・教員に指示された関連する参考論文を読み、自己の結果と客観的に比較・考察する。 ・教員の指導の下に、研究の成果を科学的な研究論文としてまとめる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	研究計画を立案し、計画に従って実験研究あるいは調査研究を実施する。	指導教員による指導を受けながら、研究計画を立て、研究を遂行する。		
2	卒業研究発表	指導教員による指導の下、卒業研究発表会にてプレゼンテーションする。		
3	研究論文の作成	科学論文の様式にのっとり、卒業研究論文を書く。		
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	卒業研究は、入学以来履修した全ての科目で学んだことの集大成となる。			
テキスト	研究テーマに関連のある資料を利用する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要な資料は、指導教員が適宜紹介する。また、必要に応じてデータベースを検索し、必要な情報を自ら収集する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究は、通常の科目と異なり、正解があるわけではない。未知の問題について、どのようにしたら合理的な解決が図れるかを自分で考えることが重要である。 ・図書館やインターネットによる情報検索の技術・方法についても習熟して欲しい。 			
達成度評価に関するコメント	いきなり卒業研究のすべてを一人で行える人は、ほとんどいない。指導教員との密接な共同作業が必要となる。卒業研究を遂行しながら自己啓発につとめ、上にあげた理想的な達成度レベルに少しでも近づけるよう頑張ることを望む。			